ニチイキッズ次郎丸保育園　自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。

また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

|  |
| --- |
| 評価方法 |
| 保育士等（全職員）の自己評価 | 評価期間 | 2024年1月5日（木）～2月27日（火） |
| 実施方法 | 自己評価の目的・具体的な評価方法等について全職員に説明し実施した。 |
| 保育施設の評価 | 評価日 | 2024年2月29日（木） |
| 実施方法 | 会議の場で職員全員に共有し、保育施設の課題を明確化し改善方法やその為の工夫について検討した。 |
|  |
| 項目ごとの評価 |
| 保育理念 | 「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」の保育理念を基に子どもの最善の利益や適切な関わり方について園内研修等で全職員が共通理解を深め、一人一人の気持ちを尊重し、寄り添いながら保育を進めていくようにしている。 |
| 子どもの発達援助 | 園児の成長発達の様子を職員間で共有し、ひとりひとりに必要な援助の仕方や目標を打ち出しつつ、無理をせず臨機応変な対応を心掛けている。 |
| 保護者に対する支援 | 連絡帳や送迎の際に子どもの様子を密に共有する時間を大切にしてきた。保育参加行事の際には保護者間での情報や悩み、解決策の共有ができる場を設け、互いに励まし合う場面も見られた。 |
| 保育を支える組織的基盤 | 今年度はキャリアアップ研修の受講率も良く、STEAM教育研修の内容と実践報告共有の場も行えた。さらなるスキルアップを目指し保育の質を向上させていきたい。 |
|  |
| 総評 |
| 経験豊富な職員が多く、キャリアアップ研修の受講者増加、STEAM教育の共通理解も進んでいることから、全学年に保育の質の向上を感じる一年だった。日常の保育や業務についての会議の時間の取り方は容易ではなかったが、短時間のミーティングであっても意見交換は充実しており、共有事項の伝達は細やかにできていた。今年度は行事を通常通りの形に戻すことができ、その都度企画や準備段階から効率よく進行でき、補助者等の協力態勢もしっかりと取れているのを感じられた。次年度は、保護者支援に対しても皆でさらに意識を高め、懇談会の設定や保育参加の場を増やし信頼関係を深めていき、保護者様の満足度の向上に努めていきたい。 |